桑名市立小・中・義務教育学校教育職員に関する業務量管理・健康確保指置実施計画の策定について

令和7年6月、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法一部改正の成立に基づき、服務を監督する教育委員会は、文部科学大臣が定める指針に即して「業務量管理・健康確保措置実施計画」を定めることとされたことを受け、策定。

量の課題（極端な偏在）



平均時間の減少　　月80時間超えの偏在

1. 月80時間超: 延べ70人【R6年度】
2. 中学校（部活動・生徒指導）への集中、特定の学校への偏重。
3. 全体の平均は抑制されているが、一部の教員に極端な業務集中が発生している。

質の課題（心理的負担）



1. 仕事のやりがい満足度 4.03【R７年度】（県平均3.88を上回る）
2. メンタルヘルス不調による休職者率 1.07【R６年度】（県平均0.74%を大きく上回る）
3. 保護者対応などの困難事案（個人の裁量でコントロールできない業務）が心理的負担を増大させている。

計画の基本方針:「業務量の適切な管理（量の管理）」「心身の健康確保、働きがいの維持・向上（質の向上）」

第1回推進委員会 報告

令和8年6月26日開催・業務量管理に関する現状認識と情報交換

現状認識 メンタル休暇が目立つ現状。特定の教員への負荷偏在は継続。

市教委のアクション

- 生成AI活用ガイドライン作成
- リタリコ教育ソフト導入
- ICT支援員の活用推進
- 管理職期首面談の実施

現場からの報告・情報交換

【前進・需要増】

ICT活用の定着

中学校でのデジタル採点で明確な成果。テトル・ダイレクトの活用推進。

外部人材の需要

ICT支援員、SC、SSW、SSSの配置は進んでおり、現場からのさらなる拡充要望が強い。

【停滞・構造的課題】

事務職員の参画難航

教員からの業務移行が難しく、専門的な調査等は依然として教員が負担。

学校プールや体育館等の施設・設備の管理の負担

授業以外の日常点検が大きな負担。

リスク管理の壁

給食・清掃指導の外部人材活用は、リスク管理の観点から難しい。

【深刻化の懸念】

複雑化する事案

問題が複雑化・深刻化するケースの対応が難しく、教員の心理的負加が限界に。

専門家サポートの急務

SNSトラブルや困難事案に対し、スクールロイヤーなどの専門的介入需要が極めて高い。

DX化（ICT・デジタル採点）と外部人材（SC/SSW）の導入は軌道に乗りつつあるが、「複雑な対人関係業務」や「教員と事務の境界業務」の切り離しが最大のボトルネックとなっている。

学校と教師の業務の３分類

令和７年１０月１５日
教師を取り巻く環境整備特別部会
（第３回）
資料１－２

- 教師が教師でなければできない業務に専念できるよう、服務監督教育委員会は、これらを踏まえて、それぞれの地域における業務の見直しについて、優先的に対応するものから「業務量管理・健康確保措置実施計画」に反映。
- 学校は、学校運営協議会等での議論を経て、優先順位を定めながら、各校の実情に応じた運用を行う。
  これらの代表例のほか、地域・学校ごとの議論を踏まえて、業務を不断に見直すことが必要。



学校以外が担うべき業務

1. 登下校時の通学路における日常的な見守り活動等
2. 放課後から夜間などにおける校外の見回り、児童生徒が補導された時の対応
3. 学校徴収金の徴収・管理（公会計化等）
4. 地域学校協働活動の関係者間の連絡調整等
5. 保護者等からの過剰な苦情や不当な要求等の学校では対応が困難な事案への対応

※朝の時間帯や下校時間の後に、学校施設で預かり活動を行う必要がある場合は、学校以外の管理体制を構築

教師以外が積極的に参画すべき業務

6. **調査・統計等への回答**｜学校への依頼を減らし、デジタル技術を活用しつつ、事務職員を中心に実施
7. **学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理**｜学校が行う場合は事務職員等が積極的に参画
8. **ICT機器・ネットワーク設備の日常的な保守・管理**｜教育委員会と連携を図りながら、事務職員等を中心に実施しつつ、地域の実情に応じて外部委託も積極的に検討
9. **学校プールや体育館等の施設・設備の管理**｜教師は授業等に付随して行う日常点検を担い、外部委託等も積極的に検討
10. **校舎の開錠・施錠**｜副校長・教頭に固定せず、機械警備、役割分担の見直し等を促進
11. **児童生徒の休み時間における安全への配慮**｜地域住民等の支援や、輪番等を促進
12. **校内清掃**｜児童生徒への清掃指導は、地域住民等の支援を得て、回数・範囲の合理化等を促進
13. **部活動**｜部活動の地域展開・地域連携を推進

教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務

14. **給食の時間における対応**｜食に関する指導については、栄養教諭等が対応
15. **授業準備**｜教材の印刷など補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを実施、デジタル技術の活用を促進
16. **学習評価や成績処理**｜採点作業等のうち補助的業務を教員業務支援員等の支援スタッフを中心に実施、自動採点等のデジタル技術の活用を促進
17. **学校行事の準備・運営**｜関係機関との日程調整や物品の準備等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進しつつ、必要に応じて外部委託等も検討
18. **進路指導の準備**｜就職先に関する情報収集等について、事務職員や支援スタッフとの協働を促進
19. **支援が必要な児童生徒・家庭への対応**｜専門スタッフとの協働等を促進

※専門スタッフとの協働、デジタル技術の活用や外部委託の促進については、地方公共団体の関係機関が積極的に参画